



2025年3月期

株式会社 FUJII 決算説明 及び 中期経営計画1年目振り返り

2025年5月 | 東証プライム・名証プレミア 証券コード：6134

本資料に含まれる全ての内容の著作権は当社に帰属します。当社の許可無く、掲載内容の一部またはすべてを複製、転載する事を禁止します。

目次

- 01 | 2025年3月期 決算概要
- 02 | 2026年3月期 通期業績予想
- 03 | 中期経営計画 1年目振り返り
- 04 | Appendix

01 | 2025年3月期 決算概要

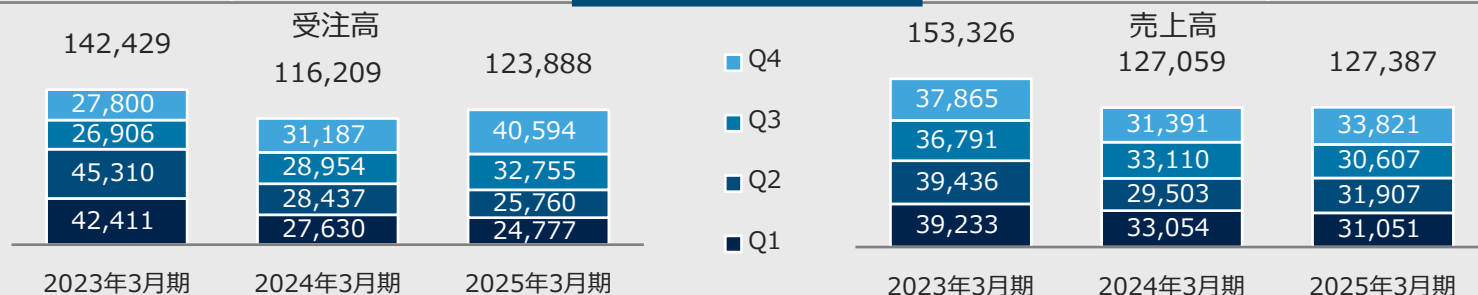


2025年3月期 業績

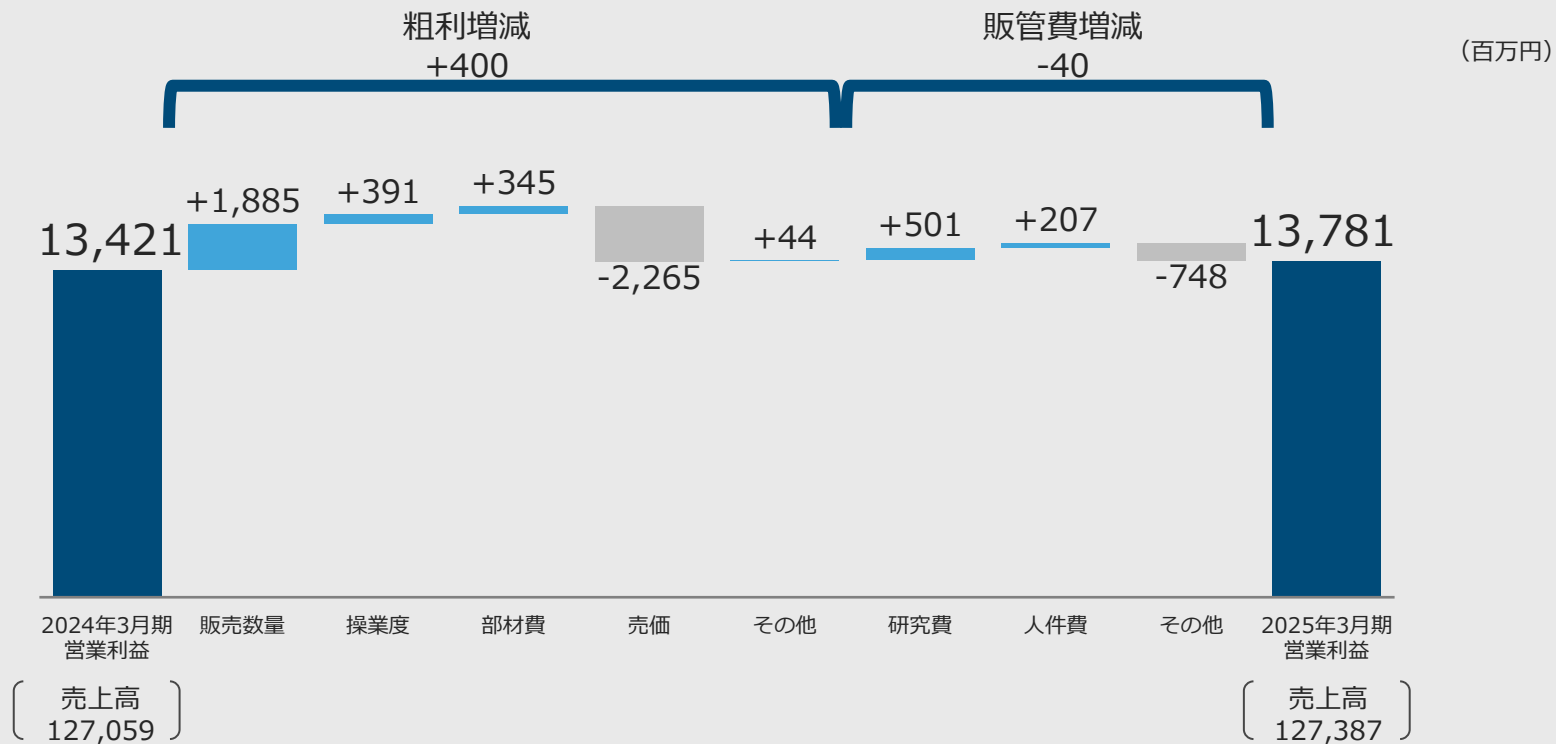
- エレクトロニクス需要の本格回復には至らず、売上・利益ともに微増
- 受注は欧米で依然厳しい状況が続くも、アジア地域は回復基調

(百万円)

	2024年3月期実績	2025年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	116,209	123,888	+7,678	+6.6%
売上高	127,059	127,387	+327	+0.3%
営業利益	13,421	13,781	+359	+2.7%
経常利益	15,010	15,328	+318	+2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,438	10,906	+468	+4.5%



営業利益増減分析



B/Sサマリー

- 現金及び預金・棚卸資産の減少により、資産合計は -6,648百万円
- 支払手形及び買掛金・未払法人税等により、負債合計は +2,947百万円
- 自己株式取得により、純資産合計は -9,595百万円

(百万円)

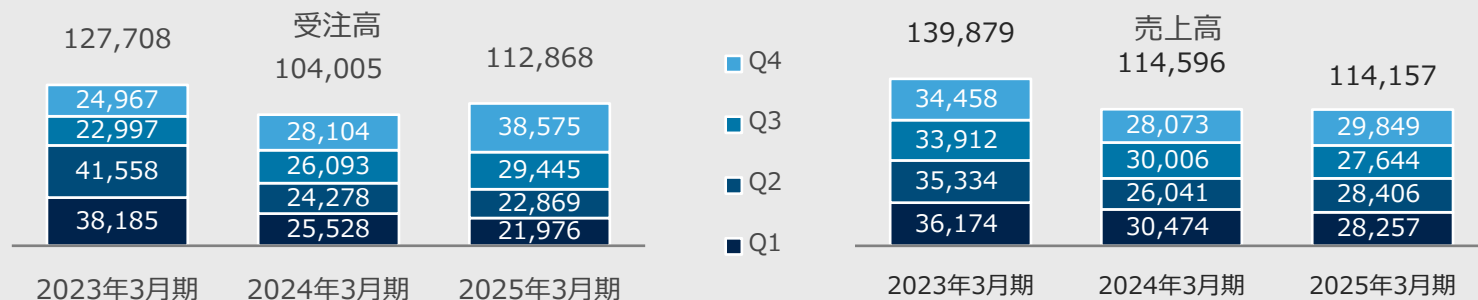
	2024年3月31日	2025年3月31日	対前期増減額	増減要因など
流動資産	161,436	155,427	-6,008	現金及び預金 -4,231 棚卸資産 -3,927 受取手形及び売掛金 +2,591
固定資産	89,501	88,862	-639	
資産合計	250,937	244,289	-6,648	
流動負債	18,406	22,256	+3,849	未払法人税等 +2,377 支払手形及び買掛金 +1,732
固定負債	4,252	3,350	-902	繰延税金負債 -892
負債合計	22,659	25,606	+2,947	
純資産合計	228,278	218,682	-9,595	自己株式 -8,708
負債純資産合計	250,937	244,289	-6,648	

ロボットソリューション事業 業績

■ アジア地域は比較的堅調に推移するも、欧米地域の設備需要が振るわず減収減益

(百万円)

	2024年3月期実績	2025年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	104,005	112,868	+8,862	+8.5%
売上高	114,596	114,157	-439	-0.4%
営業利益	18,321	16,349	-1,972	-10.8%
受注残高	34,536	33,246	-1,289	-3.7%



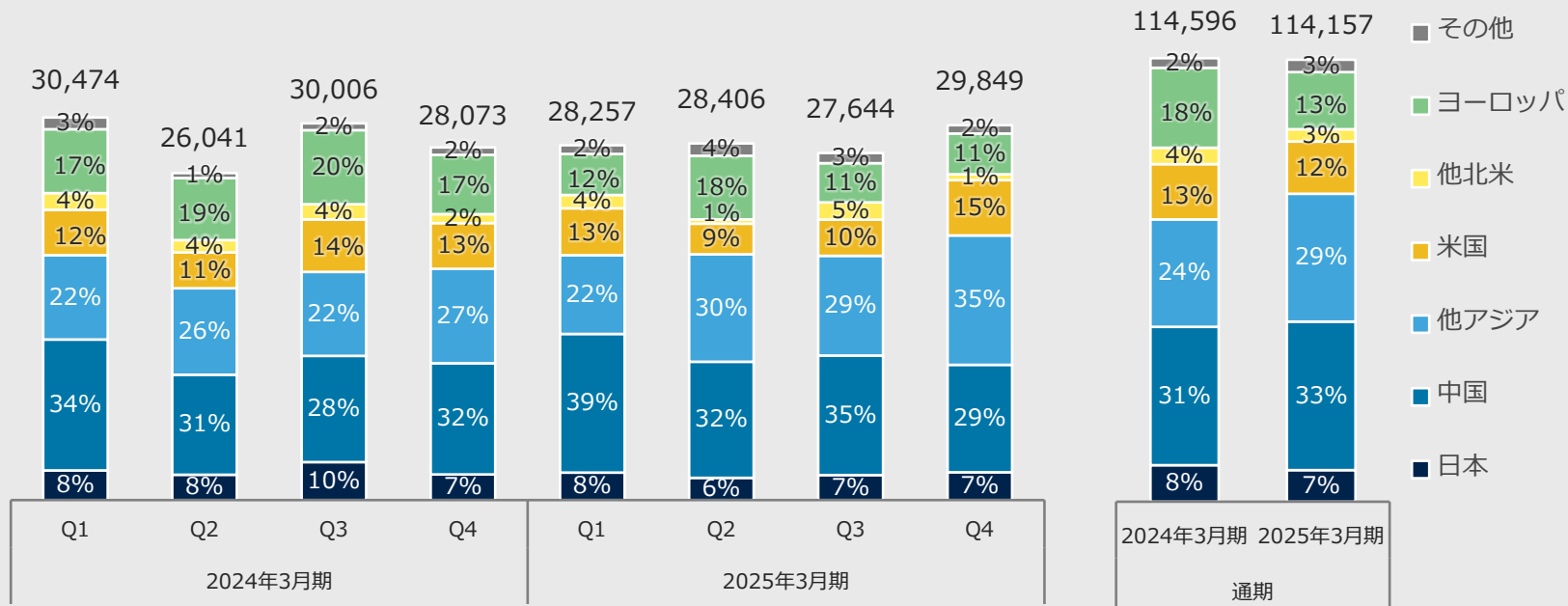


ロボットソリューション事業 地域別売上高

QoQ

- 他アジア：ベトナムにて通信関連およびPC向けの設備投資が大幅に伸長
- ヨーロッパ：主力の自動車関連市場における設備需要が低調に推移

(百万円)



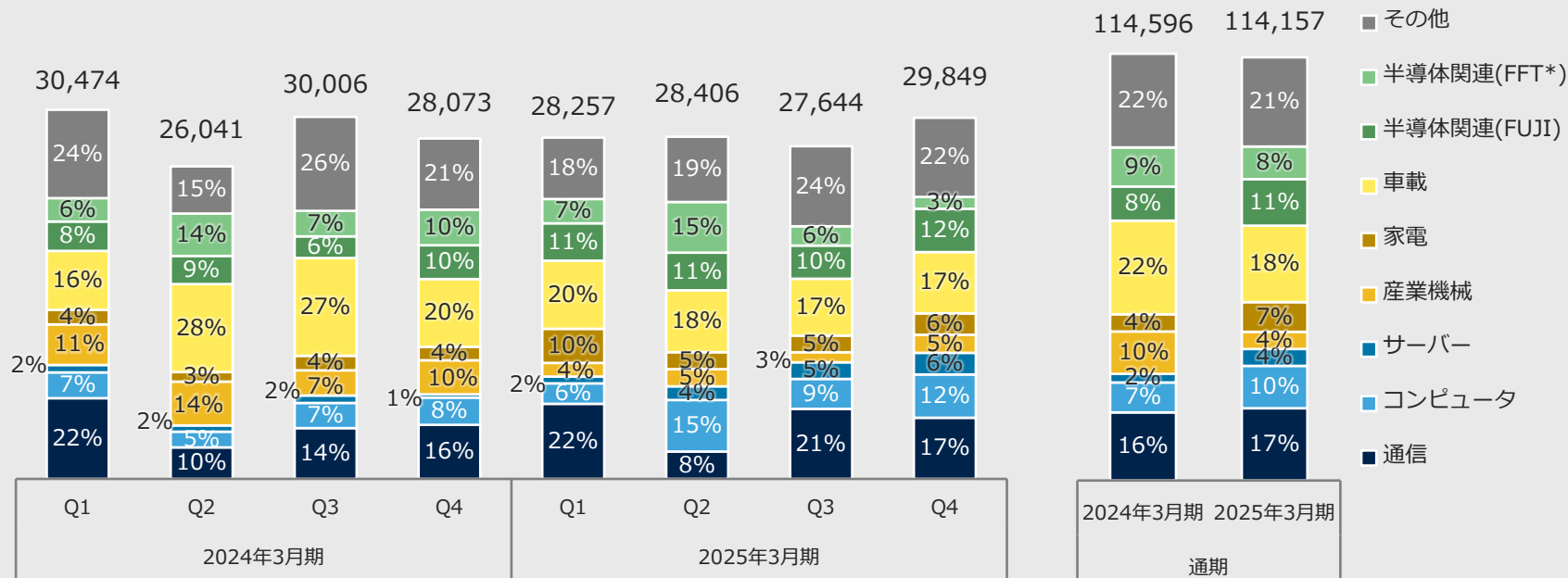


ロボットソリューション事業 業種別売上高

QoQ

- 車載：欧米市場での需要が低迷する一方、中国市場は回復基調
- 半導体関連：ダイボンド需要は厳しい状況が続く一方、マウンターは拡大傾向

(百万円)



* FFT：ファスフォードテクノロジー

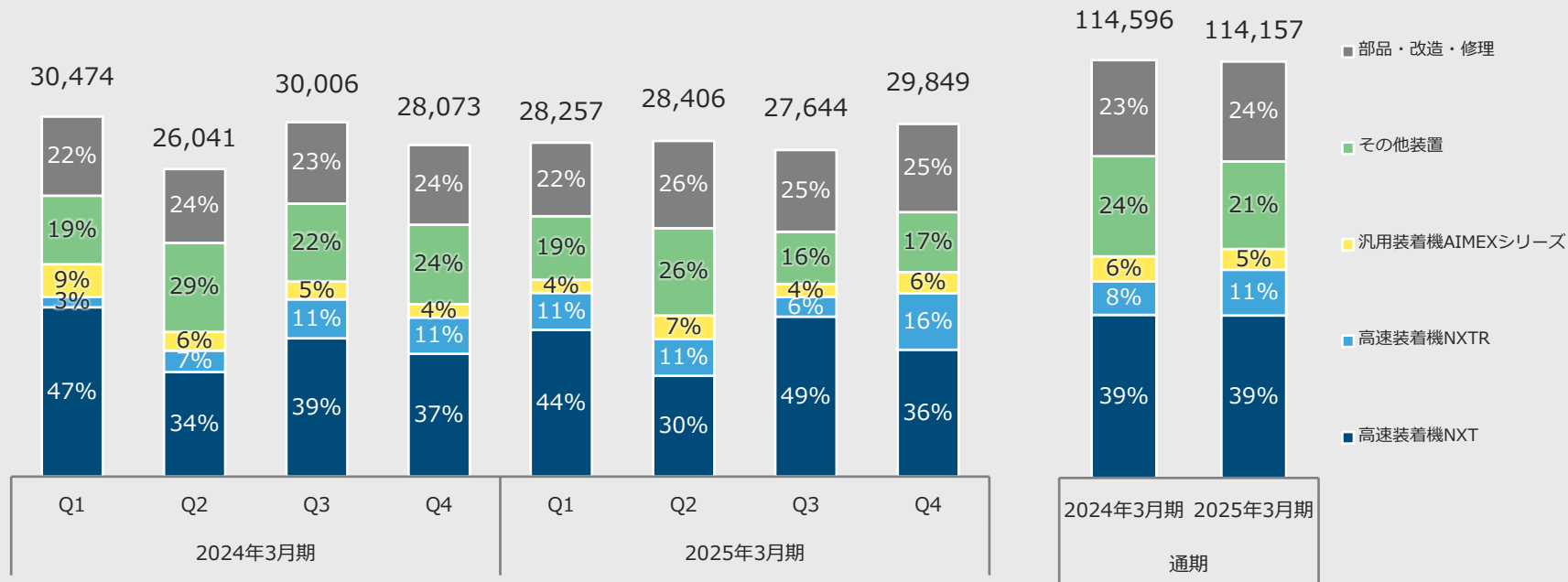


ロボットソリューション事業 機種別売上高

QoQ

■ 本格的にNXTⅢからNXTRへの切り替えが進み、NXTシリーズにおけるNXTR比率は30%超

(百万円)



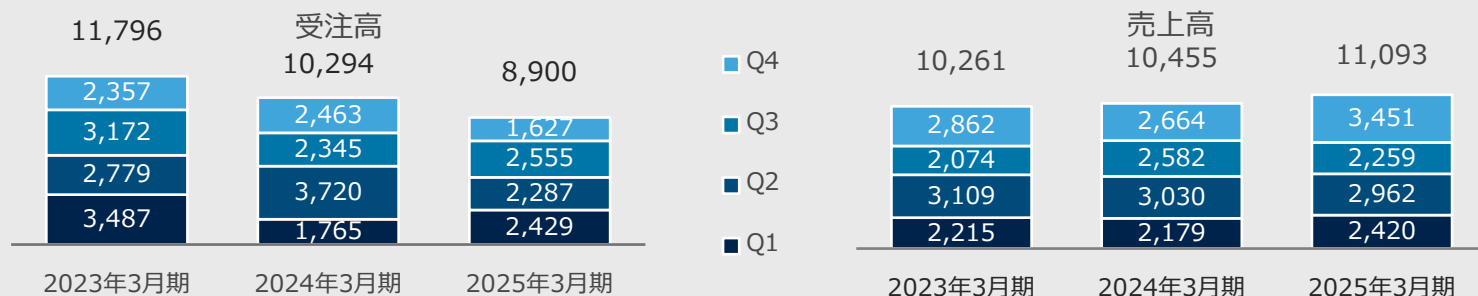


マシンツール事業 業績

- Q4に北米向け案件が複数あり、増収増益を確保
- 米国の関税政策の行方に対する不安感もあり、Q4の受注低調

(百万円)

	2024年3月期実績	2025年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	10,294	8,900	-1,394	-13.5%
売上高	10,455	11,093	+637	+6.1%
営業利益	-786	740	+1,526	-
受注残高	7,018	4,825	-2,192	-31.2%



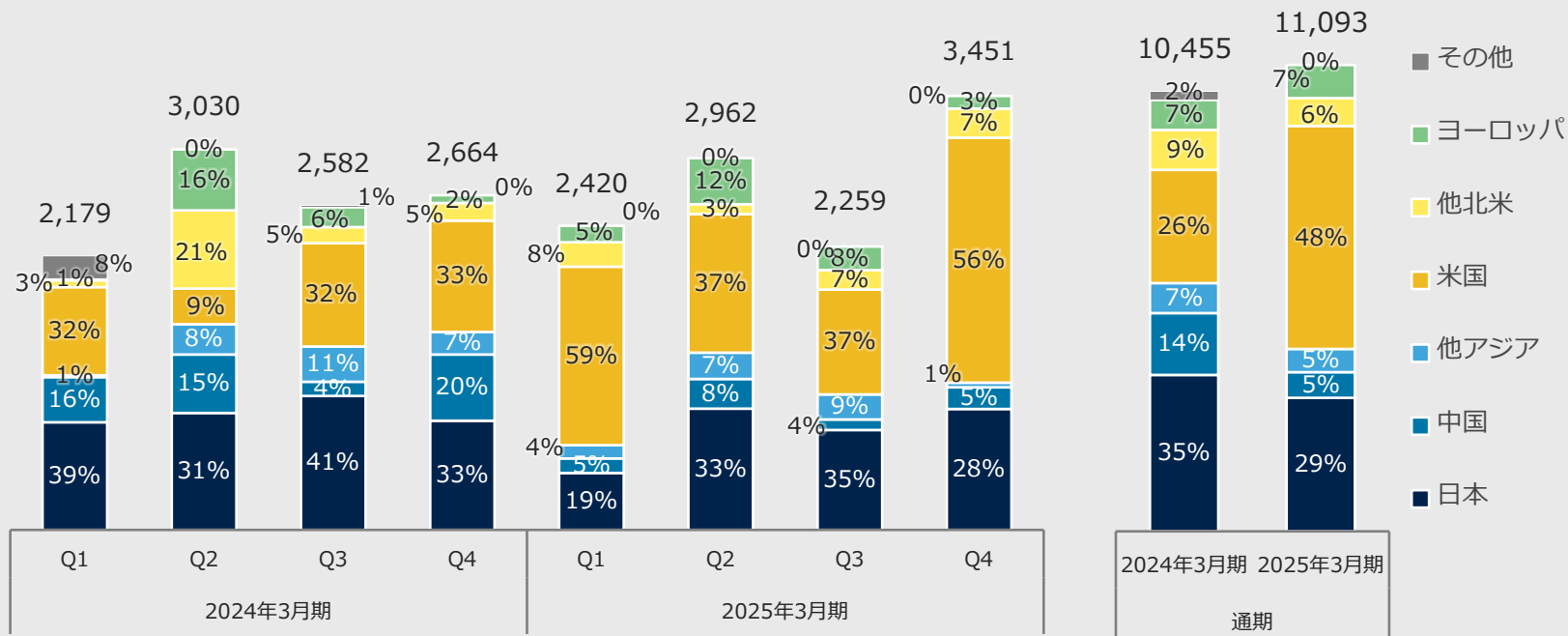


マシンツール事業 地域別売上高

QoQ

■ 米国において自動車関連で一時的な設備投資需要あり

(百万円)



02 | 2026年3月期 通期業績予想



業績予想

- 今期の通期見通しはロボットソリューション事業の業績拡大により増収・増益を見込む

(百万円)

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期予想			
		上期予想	通期予想	対前期実績	
				増減額	増減率
受注高	123,888	70,000	144,000	+20,111	+16.2%
売上高	127,387	73,000	147,000	+19,612	+15.4%
営業利益	13,781	8,900	18,000	+4,218	+30.6%
営業利益率	10.8%	12.2%	12.2%	—	—
経常利益	15,328	9,100	18,500	+3,171	+20.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,906	7,500	14,000	+3,093	+28.4%
<参考情報>					
設備投資額	14,801	6,200	13,000	-1,801	-12.2%
減価償却費	9,073	4,600	10,000	+926	+10.2%
研究開発費	7,727	4,200	8,300	+572	+7.4%

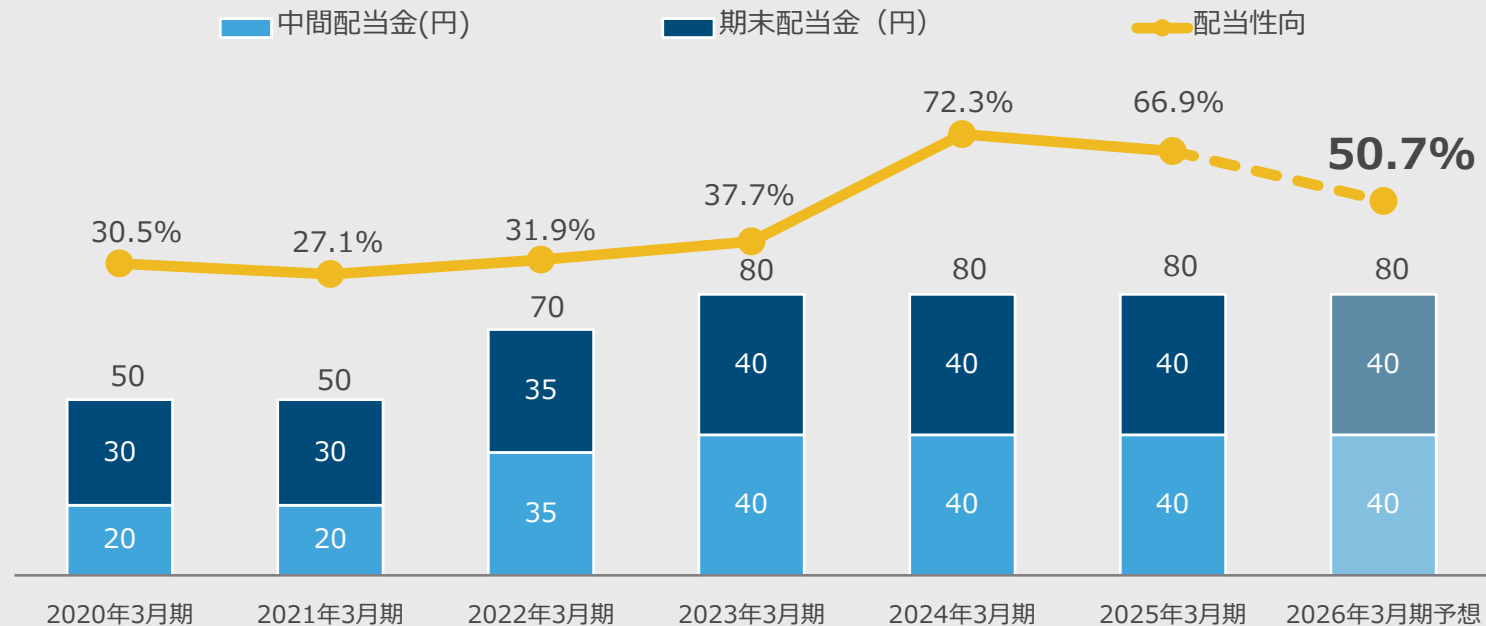
セグメント別 受注・売上通期予想

(百万円)

		2025年3月期 通期実績	2026年3月期予想			
			上期予想	通期予想	対前期実績	
					増減額	増減率
 ロボット ソリューション 事業	受注高	112,868	64,500	132,500	+19,631	+17.4%
	売上高	114,157	67,500	135,000	+20,842	+18.3%
	受注残	33,246	30,246	30,746	-2,500	-7.5%
 マシンツール 事業	受注高	8,900	4,500	9,500	+599	+6.7%
	売上高	11,093	4,500	10,000	-1,093	-9.9%
	受注残	4,825	4,825	4,325	-500	-10.4%
 その他 事業	受注高	2,120	1,000	2,000	-120	-5.7%
	売上高	2,136	1,000	2,000	-136	-6.4%
	受注残	273	273	273	±0	-
合計	受注高	123,888	70,000	144,000	+20,111	+16.2%
	売上高	127,387	73,000	147,000	+19,612	+15.4%
	受注残	38,346	35,346	35,346	-3,000	-7.8%

配当金

- 配当性向50%以上、年間配当金下限80円という方針に基づき、2026年3月期配当については80円の予定



03 | 中期経営計画 1年目振り返り



中計1年目の進捗状況

- 初年度は、売上高は未達、営業利益は達成
- 要因：エレクトロニクス市場回復の遅れ
ダイボンドの市場低迷
マシンツール事業の構造改革

- マウンターの市場回復を見込み、2027年3月期予想を見直し
- マシンツール事業については、あらゆる可能性を視野に入れ、ビジネスモデルの再構築を検討中

事業別(百万円)		2025年3月期	
		中計策定時	実績
ロボットソリューション	売上高	120,500	114,157
	営業利益	17,000	16,349
マシンツール	売上高	10,500	11,093
	営業利益	100	740
その他	売上高	2,000	2,136
	営業利益	0	-109
合計	売上高	133,000	127,387
	営業利益	13,500	13,781

		2027年3月期予想	
		中計策定時	今回見直し
ロボットソリューション	売上高	145,000	156,000
	営業利益	30,600	33,600
セミコン	売上高	27,000	14,000
	営業利益	5,500	2,000
マシンツール・その他	売上高	8,000	10,000
	営業利益	500	700
合計	売上高	180,000	180,000
	営業利益	33,000	33,000

*セグメント営業利益については全社費用を掲載していないため合計金額と一致していません

ロボットソリューション事業 予想見直しについて

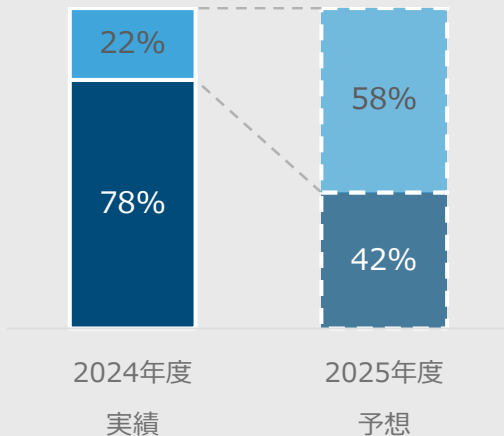
- NXTRのお客様からの評価が進み、自動化・高密度実装の優位性により用途が拡大、結果NXTからNXTRへの導入切替が加速

- 2026年度4,000億円に成長するマウンター市場においてシェア3割以上を確保

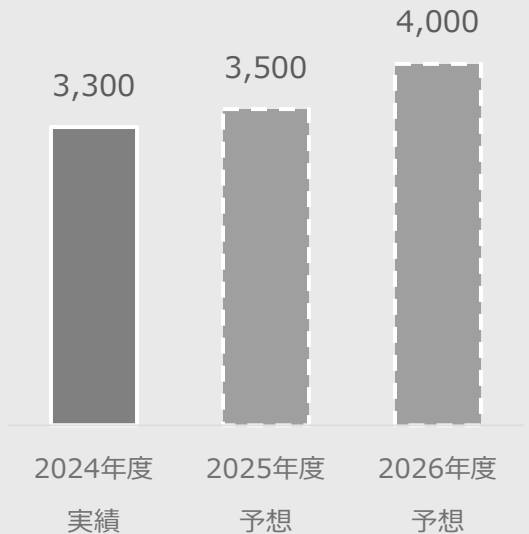
- 岡崎工場のNXTR生産体制強化
現状月産500台体制から、
2025年度1,000台体制へ

NXT/NXTR売上高推移

■ 高速装着機NXT ■ 高速装着機NXTR



マウンター市場予測 (億円)

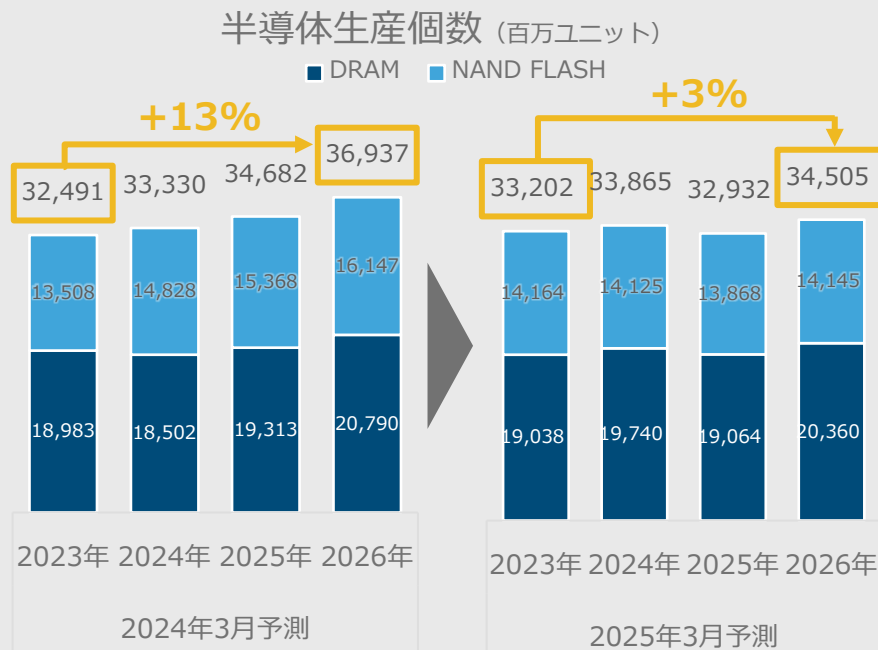


MDC (マーケット・データ・コンベンション) などをもとにFUJI推計

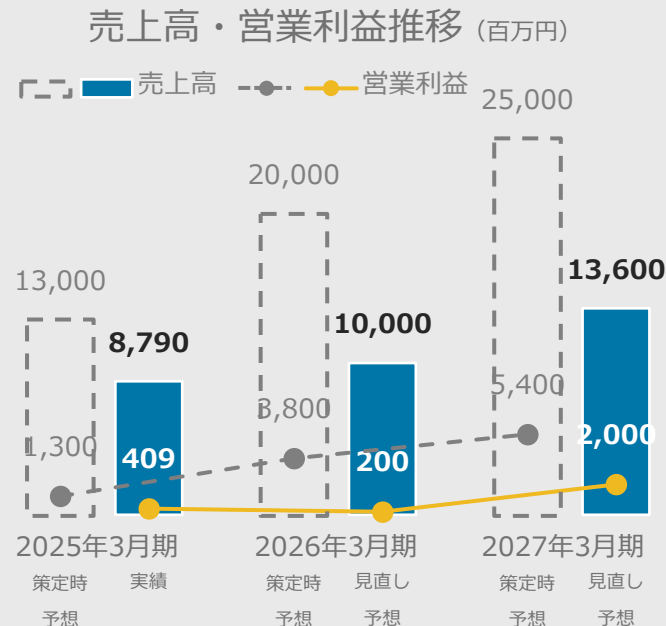


ファスフォードテクノロジー 予想見直しについて

- 中計進捗：汎用メモリ市場の需要減により未達
- 新製品開発中、2026年度より随時市場投入（アドバンスドパッケージング向け高精度機、ハイブリットボンダ）
- チャイナプラスワン加速による東南アジア地区での市場拡大、インド市場での半導体量産本格化に期待

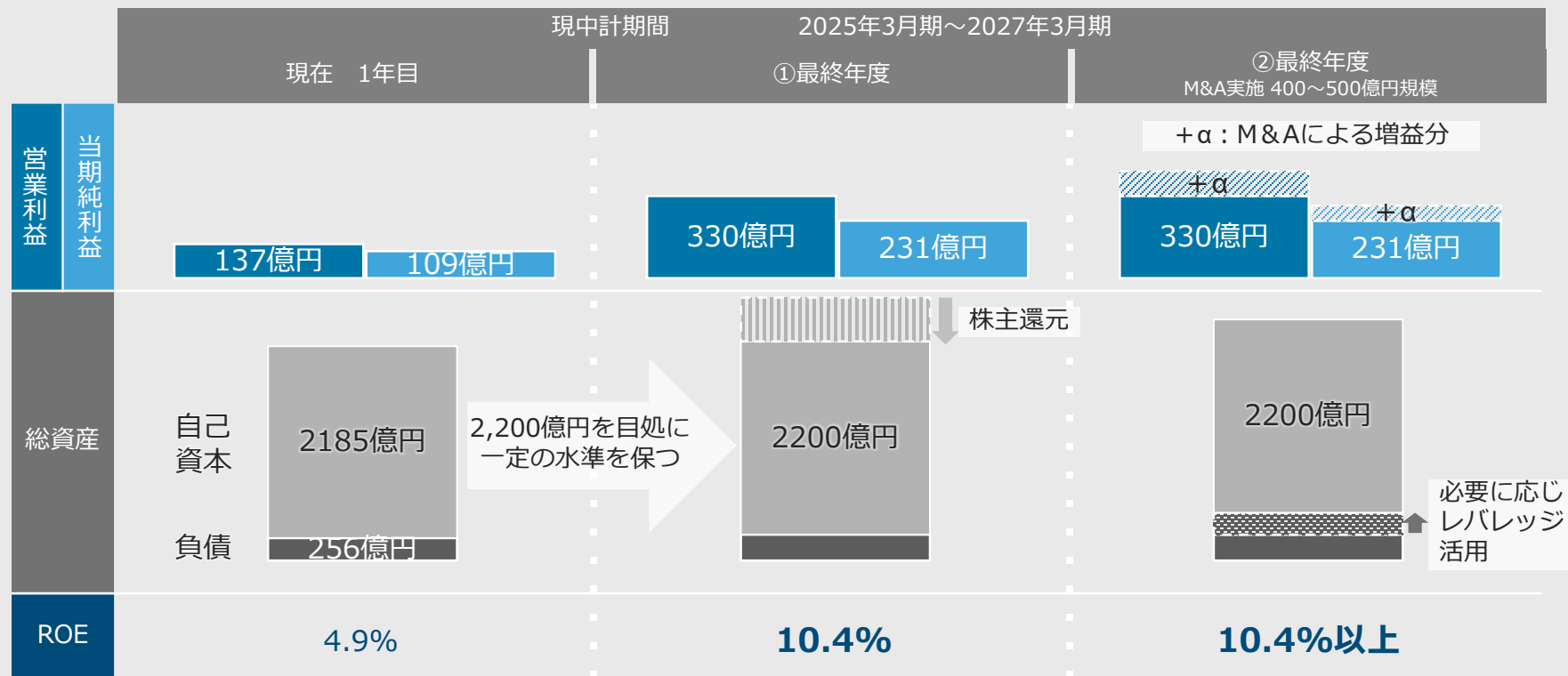


TechInsightsよりFUJII作成



ROE目標達成に向けて 資本効率を重視した経営

- 既存事業拡大により利益創出、加えてM&Aも積極的に検討
- 株主還元とレバレッジ活用で自己資本を抑え、株主価値の向上と事業成長の両立を目指す



04 | Appendix



会社概要

会社名	株式会社 F U J I（旧社名 富士機械製造株式会社）
創業	1959年4月
本社所在地	愛知県知立市山町茶碓山19番地
代表者	代表取締役社長 五十棲 丈二
資本金	5,878百万円（2025年3月末現在）
売上高	127,387百万円（連結、2025年3月期）
従業員数	2,976名（連結、2025年3月末現在）
主要製品	電子部品実装ロボット（マウンター）、工作機械、半導体製造装置
上場株式市場	名古屋証券取引所 プレミア市場 東京証券取引所 プライム市場 （証券コード：6134）

沿革



- 電子部品自動挿入機 BA 完成



- モジュール型高速多機能装着機 NXT 完成



Quist

- パブリックストッカーシステム Quist 完成



Hug

- 移乗サポートロボット Hug 完成

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Sモデル 完成

1959年

1978年

1994年

2003年

2013年

2016年

2018年

2019年

2022年

工作機械

電子部品実装ロボット

新規事業

半導体製造装置

- 富士機械製造株式会社設立



FS型単能機

- 超高速装着機 CP-6 完成



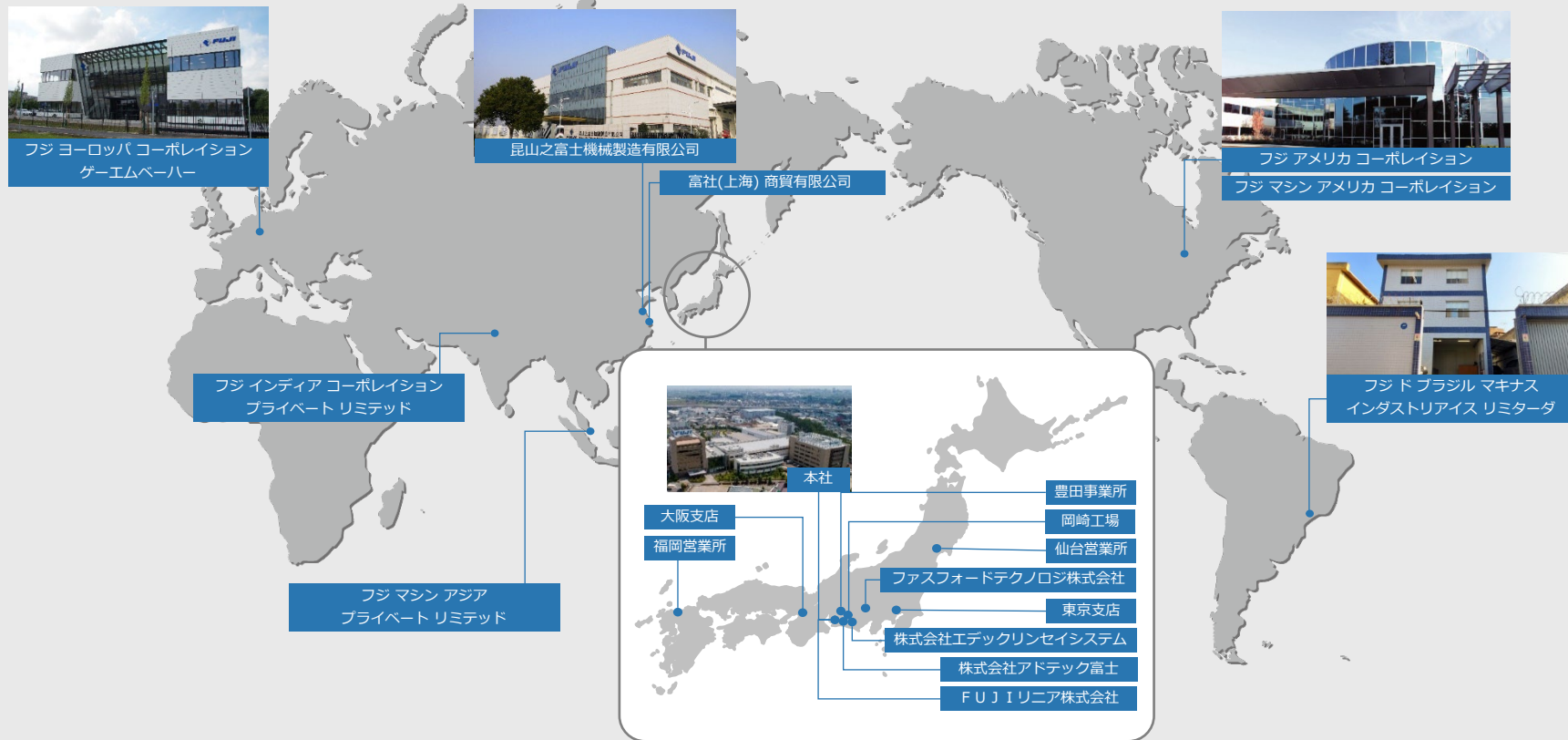
- 東京証券取引所市場第一部上場

- 株式会社 F U J I へ社名変更
- ファスフォードテクノロジー株式会社を連結子会社化

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Aモデル 完成

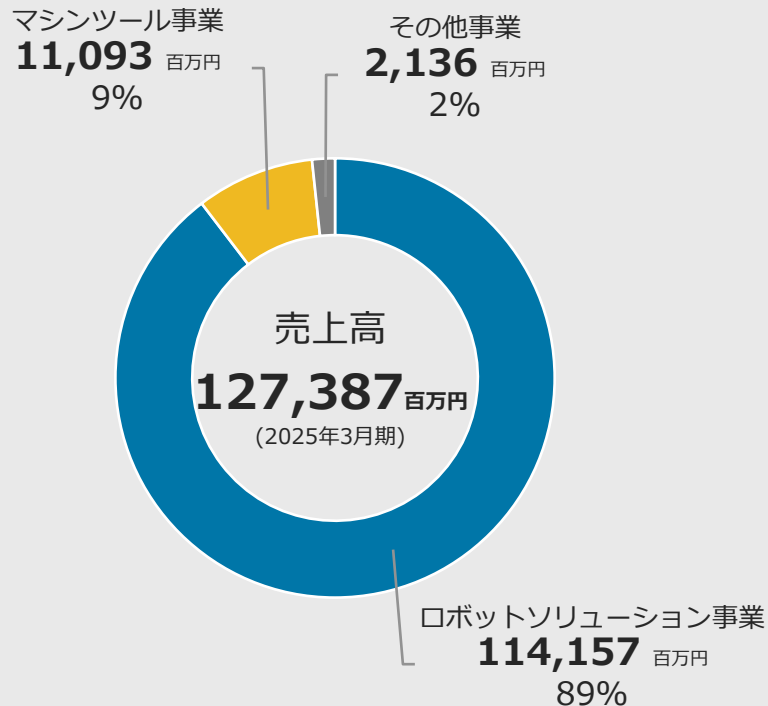


国内外拠点



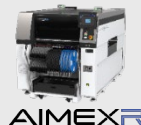
事業概要

ロボットソリューション事業が9割を占める



ロボットソリューション事業

電子部品
実装ロボット
(マウンター)



半導体製造装置
(ダイボンダ)



ライフサポート



マシンツール事業

工作機械
(旋盤)



マウンターとは

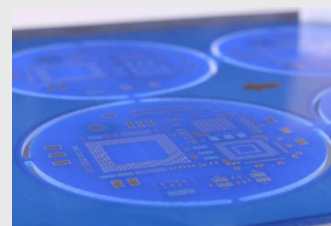
- 表面実装技術 = Surface Mount Technology (SMT)
…電子部品をプリント配線板の上に正確に並べる
- マウンター = (表面) 実装する機械
- 最小で0.25mm×0.125mmの部品を高速・正確に実装
- F U J I のマウンターは極小部品を1秒間に16個並べることができる

NXTシリーズ
累計出荷台数
120,000台

マウンター「NXTⅢ」



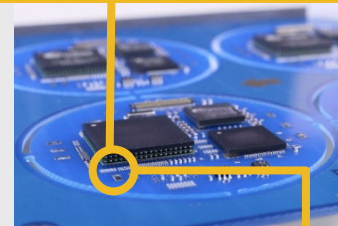
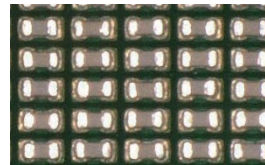
NXTⅢ
Fuji Scalable Placement Platform



プリント配線板（実装前）

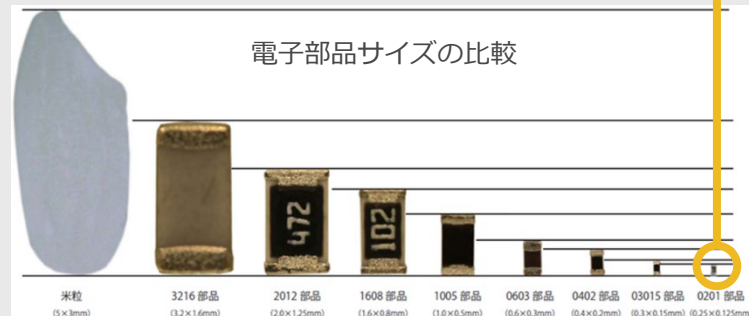
実装精度 ±15μmの誤差

部品間の隙間 X=0.13mm Y=0.08mm



電子基板（実装後）

電子部品サイズの比較



電子製品製造におけるFUJIのかかわり

材料形成
部品加工

- ・電子部品メーカー
- ・基板メーカー
- ・はんだメーカー



電子基板
製造

お客様



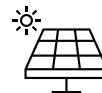
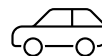
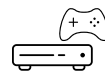
- ・EMS*
- ・自動車部品メーカー
Tier1、Tier2 など

製品組立

- ・各種メーカー



最終製品



表面実装工程



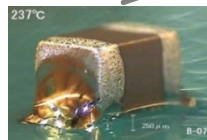
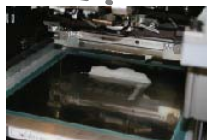
NXTR PM
FUJI Smart Factory Platform



NXTR
FUJI Smart Factory Platform



AIMEXR



プリント配線板

はんだペーストを印刷

電子部品を並べる

リフロー炉で加熱

電子基板完成

* EMS : Electronics manufacturing serviceの略称で、他社の製品の製造を請け負う企業・サービスのこと。

FUJIの強み

■ 技術力

- ・ モーター、サーボ、画像処理などのコア技術を全て自社開発



■ モジュールコンセプトに代表される独創的な製品開発

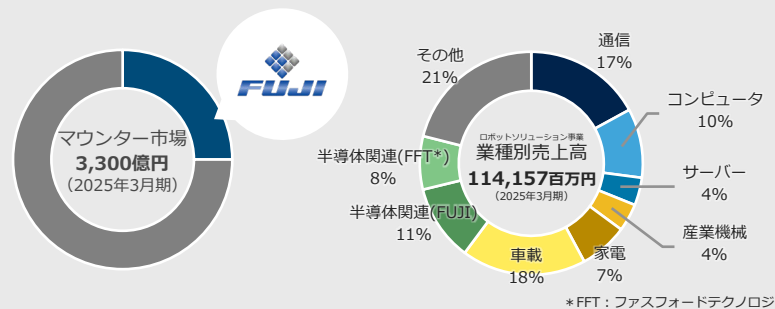
- ・ 国内外特許登録件数 7,000件以上 (2025年3月末時点)
- ・ 受賞歴

2014年 「第6回ロボット大賞 経済産業大臣賞」
 2016年 平成28年度全国発明表彰「文部科学大臣賞」
 2018年 第50回市村産業賞「功績賞」



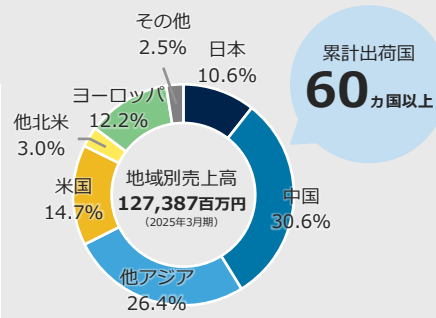
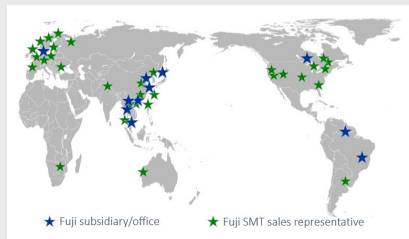
■ 世界シェア: トップクラス

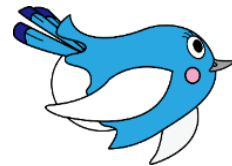
- ・ 幅広い業界・業種の顧客層



■ 世界中のセールス・サービスネットワーク

- ・ 各地域のお客様に寄り添い生産をサポート





【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

【 IRに関するお問い合わせ】

株式会社 F U J I 経営企画部 IR担当

E-mail : irsr@fuji.co.jp

Webサイト : <https://www.fuji.co.jp/ir/>

